

請 願 文 書 表

平成29年第4回（9月）岐阜市議会定例会

請 願 番 号	請願第11号
件 名	岐阜市新庁舎建設の見直しを求める請願
受 理 年 月 日	平成29年9月5日
紹 介 議 員	井深正美、原 菜穂子、堀田信夫
付 託 委 員 会	総務委員会
<p>（ 請 願 要 旨 ）</p> <p>40年後の岐阜市の人口は現在の41万人から27万人に減少すると予測されるが、なぜ新市庁舎の床面積が現市庁舎の1.6倍であり、18階建てが必要なのか多くの市民は納得していない。</p> <p>新市庁舎建設は当初9階建ての設計が提案されていたにもかかわらず、なぜ18階建てに変更されたのか明確な市の説明はなく、多くの市民の理解が得られていない。建物の年間維持費も約1億7,000万円から約4億1,000万円に膨れ上がる。</p> <p>平成27年度の市債合計残高は2,487億円であり、その利息支払い額だけで1年に39億円（1日当たり1,070万円）もあるにもかかわらず、新市庁舎建設に254億円もかけることでさらに借金を増大させることになる。</p> <p>現設計図で示された低層階と高層階（4～18階）からなるのっぽな構造では無駄が多く、スペースの有効活用及び建設費を削減する観点からも機能的で耐震性がより向上する箱型の建物とすべきである。</p> <p>市役所の機能に求められるのは豪華な内装及び外観ではなく、安全でわかりやすく、使いやすいもので用件さえ済ませれば十分である。</p> <p>以上のことから、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新市庁舎の床面積は現市庁舎以内とすること。 2 新市庁舎は低層階で箱型の機能的な構造とすること。 3 各地域での支所の充実により高齢者にやさしい環境とすること。 	
付 託 年 月 日	平成29年 9月20日（水）
審 査 結 果	平成29年 9月27日（水） 不採択